

# 高齢者インフルエンザ予防接種説明書

以下の説明文をよく読んでから接種を希望するかどうか決めましょう。

## インフルエンザワクチンの効果

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染を受けて発熱(38℃以上)、頭痛、筋肉痛、関節痛などが突然あらわれ、咳、鼻汁などが続き1週間程度で軽快します。高齢者の方や慢性疾患を持つ方などは、肺炎を伴うなど重症化することがあります。ワクチンの効果は、高齢者の発病予防や重症化予防に効果があるとされています。

## インフルエンザの予防接種を受ける前に

### (1) 一般的注意

インフルエンザ予防接種は、ご本人が接種を希望する場合に接種を行いますので、有効性や副反応等を十分に理解した上で接種を受けてください。

認知機能の低下により、意思疎通が困難な場合は、家族又はかかりつけ医の協力により接種者の意思確認を行い、最終的にご本人の意思確認ができなかった場合には、費用助成による接種を受けることはできません。

インフルエンザの予防接種は、接種医師の判断により新型コロナワクチンと同時接種を行うこともできます。

### (2) 予防接種を受けることができない方

- ① 明らかな発熱のある方(体温が37.5℃以上の場合)
  - ② 重篤(じゅうとく)な急性疾患にかかっていることが明らかな方
  - ③ インフルエンザの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーショックをおこしたことが明らかな方
  - ④ インフルエンザの予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
  - ⑤ その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある方
- 上の①～④に入らなくても医師が接種不適当と判断した時は接種できません。

### (3) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患や血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱の見られた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方

裏面もご覧ください。

- ③ 今までにけいれんを起こしたことがある方
- ④ 今までに免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する方
- ⑥ 鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーがあるといわれたことがある方

#### (4) ワクチン接種後の注意

- ① 接種後 30 分間は急激な健康状態の変化に注意し、医療機関において様子を見ましょう
- ② 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動は避けるよう注意しましょう
- ③ 接種後、接種部位の異常反応や、体調の変化があった場合には、すみやかに医師の診察を受けましょう
- ④ 予防接種当日の入浴は差し支えありません

#### インフルエンザ予防接種の副反応

接種部位の発赤、腫脹、疼痛などが主な副反応です。全身反応として、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、関節痛、筋肉痛などがありますが、通常2～3日中に消失します。過敏症としてまれに発疹、じんましん、湿疹、紅斑、多形紅斑、そう痒感などがあります。

また、まれではありますがアナフィラキシーショックなど重篤かつ緊急的対応が必要な副反応が生じることがあります。

#### 予防接種健康被害救済制度

予防接種法に基づく予防接種を受けたことによって副反応が起こり、医療機関で治療が必要な場合や生活が不自由になった場合（健康被害）は、法律に定められた救済制度（健康被害救済制度）があります。なお、給付の対象となる健康被害は、厚生労働大臣が予防接種との因果関係がある、または因果関係がある可能性が高いと認めた場合に限ります。



小林市役所	健康推進課	健康総務グループ	電話 23-0323
えびの市役所	健康保険課	市民健康係	電話 35-1116
高原町役場	健康課	健康推進係	電話 42-4820